

第2次恵那市地域計画

大井地域自治区

【キャッチフレーズ】

いき（生き）いき（活き）おい

【地域の現状】

大井町は、恵那市の人口の約4分の1を有する、市内で1番大きな町であります。町内を二分するように走るJR中央線の恵那駅や明知鉄道恵那駅、中央高速道路恵那ICにも隣接しており、名古屋まで1時間圏内という非常に恵まれた立地条件でもあります。2027年開業予定のリニア中央新幹線岐阜県駅（中津川市）にも非常に近く、全国から注目される地域の一つとなっています。また、風光明媚な恵那峡をはじめとし、歴史文化の香り漂う中山道や明治天皇行在所といった名所旧跡も存在し、観光都市恵那の一躍も担っています。教育面では、小学校2校、中学校1校、高等学校2校と充実しており、他地域にはない規模での教育を受けられる環境でもあります。

こういった豊富な地域資源を生かし切れず、今日まで至っていることが大井町の問題の一つでもあり、今後どのように利活用していくのかが大きな課題となっています。また、人口が多く賑やかな反面、町民同士の繋がりも薄くなり、町民の自治会離れも深刻な問題となっています。

【目指すべき地域の姿(地域の全体構想)】

東日本大震災以来、全国的に防災に関する取り組みが活発に行われており、ここ数年で起こるであろうと言われている「東南海地震」における関心も非常に高いものになっています。

2027年開業予定のリニア中央新幹線は、町内に多大なる影響を及ぼすビッグプロジェクトであり、大井町全体を大きく変化させる事が予想されます。また、少子高齢化が更に進み、人口が大きく減少する事が見込まれます。

これからのまちづくりは、これらの様々な問題に目を向け取り組むとともに、地域資源を活用した賑わいのあるまちづくりを行い、安心・安全なまちで元気に生活を続け、町全体も住む町民も活力のある、いきいきとしたまち「おい」を目指し、地域の特性を生かして自主・自立したまちづくりを行っていきます。

【計画の柱(基本目標)】

1. 安心安全で快適に暮らせるまち

事件・事故・災害による被害防止に未然に取り組んでいきます。また、2027年開業予定のリニア中央新幹線に関する事に積極的に取り組んでいきます。

2. 歴史文化と自然が調和した元気なまち

恵那峡や中山道そして商店街など、大井町内にある地域資源を活用し、町内外の人達を取り入れたまちづくりに取り組んでいきます。

3. 健康で心豊かに暮らすまち

心身共に健康に暮らせるまちを目指します。

4. 町民みんなで子育てできるまち

子育て世代を中心として、町民皆で子育て支援が出来る環境作りを図ります。また、有益な情報発信に努め、子育てしやすい町を目指します。

【基本施策】

計画の柱1：安心安全で快適に暮らせるまち

(1) 防犯防災活動の充実

自治会単位での講習会の開催や防犯防災の啓発活動など、更に充実した活動を行い、町民が安心して暮らせるような環境作りを行っていきます。

(2) 災害時に助け合える協力体制の強化

大井町内に多数ある各種団体と連携を取り、災害時には組織に関係無く大井町として取り組んでいける組織作りの強化を行っていきます。また、災害の未然防止施策として、町民へのハザードマップの周知を行います。

(3) リニア開通に向けたまちづくり

2027年のリニア中央新幹線の開業に向け、通過地域を中心としたリニア委員会等に力を入れ、沿線の工事中も完成後も、安全で快適に暮らせる大井町を目指します。

計画の柱2：歴史文化と自然が調和した元気なまち

(1) 中山道から恵那峡までの地域資源の活用

大井町にある名所旧跡（明治天皇大井行在所・中山道ひし屋資料館等）の保存を前提に、市内外や外国から大井町を訪れる方々に「おもてなし」の心でお迎えします。また、明治天皇大井行在所を中心とした中山道大井宿のまちづくりを行政と協働で取り組み、魅力有る大井町にしていきます。

(2) 地域とまちなかが連携した活性化

朝市やまちなか市などの取り組みを、更に充実した活動として取り組んでいきます。また、空店舗を活用したまちづくりにも取り組み、にぎわいのある大井町を目指します。

(3) 伝統芸能の保存継承

地域の伝統芸能を大井町芸能フェスタ等を通して広く知ってもらう機会づくりに努め、後世につなげる取り組みをしていきます。

計画の柱3：健康で心豊かに暮らすまち

(1) 世代を越えた参加が出来る運動の推進

日常的に誰もが気軽に行える運動を推進します。

(2) 心の健康の推進

高齢者の心の健康と生きがい作りとひきこもりなど、若年層から中年層の心の問題に目を向け改善に取り組んでいきます。

計画の柱4：町民みんなで子育てできるまち

(1) 子育て世代を中心とした世代間交流の推進

学校・保護者・地域が一体となって子どもたちと関われる仕組みづくりを考え、子どもを持つ世代が安心して暮らせる町づくりを目指します。

(2) 子育てに関する情報発信の強化と諸課題の具現化

子育てに関する様々な問題を町民の課題の一つととらえ、それら諸課題が現実的に解決されるよう取り組んでいきます。そのため大井町かわらばんなどを活用し、子育てに関心を持ってもらうように取り組みます。

【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆大井町 ☆長島町 	柱1：安心安全で快適に暮らせるまち （2）災害時に助け合える協力体制の強化 柱1：災害を少なくするまち （1）防災機能（長島自主防災組織など）の充実
取り組み内容	
◎災害を見据えた連携強化 阿木川より西側にある地区の大井町民は、災害時には長島町に避難される方もあります。また、恵那駅周辺は両地域をはじめとした、多くの方の交流拠点となっている地区のため、災害時には帰宅困難者の受け入れを両地域で行わなければなりません。両地域が連携を取る事により、防災力の強化が図れます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆大井町 ☆長島町 	柱1：安心安全で快適に暮らせるまち （1）防犯防災活動の充実 柱2：災害を少なくするまち （2）交通安全・防災活動の充実
取り組み内容	
◎防犯力の向上 国道19号をはじめとした交通インフラは、両地域の重要な地域資源であります。反面、犯罪時には人口密集地から瞬く間に有用な逃亡経路へと変貌します。それぞれの地域での防犯活動では限られていた事が、両地域で連携を取る事により、防犯力の向上が見込めます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> ☆大井町 ☆長島町 	柱2：歴史文化と自然が調和した元気なまち （1）中山道から恵那峡までの地域資源の活用 柱2：地域の歴史・伝統・文化を発見し楽しめるまち （1）歴史・伝統・文化の再発見と継承
取り組み内容	
◎地域の魅力発信 両地域の共通な歴史文化として「中山道」があります。中山道の持つ役割は両地域で異なりますが、それぞれの良い所を融合する事により、非常に魅力ある地域資源へと変貌します。両地域が連携し、地域内外に発信する事により、賑わいのあるまちづくりが見込めます。	